CONFIDENTIAL

コーヒー生豆麻袋のリサイクル
廃棄物処理量とその方法

小川珈琲株式会社 京都工場

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

コーヒー生豆麻袋のリサイクル

開袋後のコーヒー生豆の麻袋の販売と再生原料への加工

コーヒー生豆の麻袋は、開袋後、産業廃棄物として廃棄処分していました。

その数、年間で約27t。費用としては、357,000円。

その麻袋を廃棄せず、販売することで、廃棄費用の削減へ繋がりました。

また、販売した麻袋は加工され、再生原料として使用されることになりました。

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

活動の経緯

「活動の始まりは、飛び込みの電話。」

2022年10月：麻袋の処理方法についての問い合わせがあり、

回収方法の検討を進める。

2022年12月：麻袋の回収開始。また、生産部内で

リサイクルアイディア募集開始。

2023年1月：集計結果からドンゴロスコースターを試作。

※ドンゴロス60%、ポリエステル(PE)40%

を混ぜ、プレスしたもの。

2023年4月：商品開発課に起案し、試作を店舗で使用。

改良品を現在も作成中。

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

麻袋の回収まで

開袋後の麻袋は
フレコンバックへ詰める

限られたスペースで麻袋を保管
製造状況に合わせた計画的な
移動と管理が必要

回収の様子
１回あたり約２トンの麻袋を回収

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

麻袋リサイクルの流れ

加工後の麻袋「反毛品」の状態
繊維原料としてフェルト工場へ

フェルト加工された麻袋
PP繊維と反毛繊維を50：50でフェルト化

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

活動の成果

麻袋の廃棄・販売量の推移(2024年9月末時点)

・66期　廃棄：23,680kg

・67期　廃棄：　4,855kg　**販売：20,392kg**

・68期：廃棄：　　**0kg**　**販売：27,284kg**

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

活動の成果

リサイクル活動による効果

・産業廃棄物処分費用：**年間357,000円削減（月29,750円×12カ月）**

・焼却処分によって生じる**温室効果ガスの削減**

・引き取り便は、リサイクル工場からフェルト工場の帰り便を活用

・必要経費は保管用のフレコンバック初回購入費のみ（24枚で31,200円、**くり返し使用可**）

・麻袋販売による利益：**年間約25,000円**

OGAWA COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

廃棄物処理量とその方法

1,資材ゴミ、2,一般ごみ、3,コーヒー、4,プラスチック、5,ペットボトル・ビン・缶
の5つに分別し、それぞれ月間数量を計量。
うち、資材ゴミ・プラスチック計14,091t、コーヒー33,422tは安田産業様が回収、
その後、関連会社株式会社大剛様にて資材ゴミ・プラスチックはRPF固形燃料に、
廃棄コーヒーは家畜飼料としてリサイクルを実施。

OGAWA COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

■小川珈琲京都工場より廃棄ごみ（廃棄コーヒー・廃棄プラスティック）搬出

■株式会社大剛様

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

■廃棄プラスティック

集められたプラスティックごみは古紙と混ぜ合わせRPF固形燃料として再利用されます。
RPF固形燃料は、石炭やコークス等、化石燃料の代替として、大王製紙様、神戸製鋼様などの大手企業などで使用されています。

※RPF固形燃料
主に産業系廃棄物のうち、マテリアルリサイクルが困難な古紙及び廃プラスチック類を主原料とした高品位の固形燃料。

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

■廃棄コーヒー

廃棄コーヒーは処理機に投入。袋から中身を直接投入。醗酵させながら次の工程に運ばれる。他の飲食店やスーパーなどから集められた生ごみも投入。廃棄の弁当などはそのまま投入し、選別機でプラと生ごみに選別される。

⇒

発酵させた生ごみは油で熱して水分を飛ばす。水分を飛ばした生ごみは家畜飼料として再利用されます。
⇒　空になった車を計量。最初の計量との差し引きで降ろした廃棄物の量を計測。

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

ブルーマウンテンの樽の活用

ジャマイカの高級豆であるブルーマウンテンコーヒーの入った樽のアップサイクル事例
これまで廃棄物だった樽が、株式会社船場様との取り組みにてテーブルとして生まれ変わる。
2023年夏に大丸京都店様のリニューアル時に、屋上広場に設置。

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.

CONFIDENTIAL

ありがとうございました。

COPYRIGHT © OGAWA COFFEE CO., LTD. ALL RIGHTS RESERVED.